

かつらぎ町とみなべ町の動脈硬化予防健診に参加された方へ

和歌山県立医科大学の保健看護学部・医学部・薬学部では、以下の疫学研究を実施しています。ここにご説明するのは、2011年から2019年にかつらぎ町とみなべ町で実施された動脈硬化予防健診を受診された皆様の検査結果やアンケート調査の情報を利用して行う疫学研究です。この研究は、和歌山県立医科大学の倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する資料を使用して行う研究ですので、新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の情報が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

和歌山県在住地域住民の生活習慣病発症に関わる遺伝・環境要因に関する研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 宮井信行

3. 研究の目的

この研究は、生活習慣病の発症に関わるライフスタイルや社会・環境要因を明らかにし、病気の予防や早期治療に結びつけようとするものです。食事、運動、喫煙、飲酒、ストレスなどの生活習慣が、脳血管疾患や心疾患をはじめ、その要因となりうる動脈硬化、糖尿病、高血圧症、脂質異常などと、どのような関係があるのかを、多角的な視点から解析を行うことで明らかにします。また、認知症や運動機能の衰えなど、年齢を重ねることで起きうる事象との関連も明らかにしていきます。

4. 研究の概要

(1) 研究の対象となる方

2011年から2019年にかつらぎ町とみなべ町の動脈硬化予防健診に参加された方のデータが分析対象となります。

(2) 利用させていただく情報

この研究で利用させていただくのは、健診で実施した検査（身体測定、動脈硬化検査、認知機能検査、血液生化学検査、尿検査、便検査）およびアンケート調査（性別、年齢、病気の治療歴と服薬状況、喫煙、飲酒、身体活動量、食物摂取状況など）のデータになります。

(3) 研究方法

健診を受診された方の一人ひとりから得られた検査やアンケート調査のデータから、生活習慣病や認知・運動機能低下のリスク要因となると考えられる各種指標間の関連を、探索的な統計解析手法を用いて抽出します。抽出されたいくつかのリスク要因間の関係性を解釈し、それが疾患や、健康を脅かす事象といった結果とどのように結びついているかを解析していきます。例えば、食事における塩分、糖質、脂質の量は互いに関係が強いという結果が探索的解析によって得られ、その傾向が強い（すなわち塩分も糖質も脂質も量が多い）方ほど高血圧、糖尿病、高脂血症にな

りやすい、という結果が得られる、というのが一例です。これは健康知識として既に知られていることではありますが、健診を受診された方々より得られたデータを広く、多角的に解析することで、新たな関連性および疾患との結びつきを発見できる可能性があります。また、地域社会の特徴と合わせて結果を解釈することで、地域独特の関係性が見いだされることも期待できます。

5. 個人情報の取扱い

この研究で利用するデータからは個人を特定できる情報は削除します。また、研究成果を学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

このような疫学研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、あなたには、ご自身の資料が利用されることを望まない場合にこれを拒否する権利があります。その場合は、2023年12月31日までに下記の問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否されたとしても不利益を被ることは一切ありません。

7. 研究組織

研究責任者 和歌山県立医科大学保健看護学部 宮井信行

分担研究者 NPO 法人ヘルスプロモーション研究センター 有田幹雄

〃 和歌山県立医科大学医学部 藤吉朗

〃 和歌山県立医科大学薬学部 赤池昭紀、伊藤達也、阿部寛康

〃 株式会社野村総合研究所 三崎富査雄、野積洋介、横内瑛

8. 問い合わせ先

和歌山市三葛 580

和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 宮井信行

(TEL) 073-446-6700 (FAX) 073-446-6720

E-mail : miyain@wakayama-med.ac.jp